

認知症の人が、自宅で暮らし続けるのが難しくなった場合に入居できる施設に、「認知症グループホーム」があります。住宅地に立地し、民家を改装した施設もあり、家庭的な雰囲気の中、少人数で生活できるのが特徴です。

対象は、介護の必要度合いが要支援2以上で、医師から認知症と診断されている人で、一つの住まいの定員は5〜9人で、二つを併設している場合が多いです。基本利用料(原則1割負担)は、要介護度に応じ、1か月(30日)で2万2470円〜2万5350円です。ほかに部屋代と食費も負担します。

居室は原則、個室で共用の

## 認知症グループホーム

### ◆認知症グループホームの1日 ソラスト石原あやめの場合

**午前**

- 6~7時 起床
- 7~8時 朝食
- 9時 検温、血圧測定など
- 10時 お茶
- 11時 入浴、散歩、レクリエーション

**午後**

- 正午 昼食
- 1時 昼寝
- 3時 おやつ
- 4時 入浴、散歩など
- 5時半~6時 夕食
- 9時半~10時 就寝

※入居者が合間に、料理や洗濯、掃除などの家事をする

台所やリビングがあります。介護職員が常駐しており、入居者はサポートを受けながら、料理や洗濯、掃除などの家事をすることもできます。ほかの入居者や介護職員と顔

## 少人数で家庭的な生活

なじみの関係を築くことで、心身の状態を穏やかに保てることを期待されています。

東京都墨田区の「ソラスト石原あやめ」の管理者の竹川明子さん(39)は「職員は黒子」を合言葉に、お世話が過剰にならないよう心がけています」と話します。認知症になっても自分でできることはたくさんあります。家事や着替えができれば自信が湧いて

要支援2	2万2470円
要介護1	2万2590円
要介護2	2万3640円
要介護3	2万4360円
要介護4	2万4840円
要介護5	2万5350円

1か月が30日で、自己負担が1割の人が、2~3つの住まいを備えた施設を利用した場合、地域によって異なる

◆認知症グループホームの基本利用料(月額)の目安